

無作為抽出型の「気候市民会議」をオンラインで開催

【概要】

無作為抽出で選ばれた札幌市民 20 人が、札幌における気候変動対策について議論する「気候市民会議さっぽろ 2020」を、11 月から 12 月に 4 回にわたりオンラインで開催します。

世界的に今世紀半ばまでの脱炭素社会（温室効果ガスの排出実質ゼロ）の実現が求められる中、欧州の国や自治体では、無作為抽出による市民会議を開いて対策を話し合う動きが広がっています。今回の会議は、こうした気候市民会議の方法を日本で活用する可能性を探るため、北海道大学や国立環境研究所、大阪大学、名古屋大学、明治大学、日本科学未来館などの共同研究（科研費基盤研究(B)「公正な脱炭素化に資する気候市民会議のデザイン」20H04387、研究代表者：北海道大学高等教育推進機構准教授 三上直之）の一環として、札幌市の協力を得て実施するもので、国内では初めての試みです。同じ研究グループでは昨年 3 月、「脱炭素社会への転換と生活の質」をテーマとした無作為抽出型の市民会議を模擬的に実施しており、今回の会議はそれをより実践的な形へと発展させたものです。

住民基本台帳から無作為抽出した 3,000 人に招待状を送り、応募した人の中から、札幌市全体の縮図となるよう性別や年代のバランスを考慮して抽選した 20 人が参加します。参加者は、あらかじめ設定された論点（脱炭素社会の将来像、エネルギー、移動と都市づくりなど）について、計 11 人の参考人の情報提供を聞いたうえで、グループに分かれて議論し、最後に結果を投票でとりまとめます。

参加者や傍聴者の一般公募は行いませんが、参考人による情報提供のレクチャーと、質疑応答などの様子は録画し、随時、ウェブサイトで動画を公開します。

議論内容や投票結果は、札幌市の気候変動対策に生かすため、来年 1 月上旬をめどに市に共有するほか、後日、報告書として公表し、札幌における気候変動対策やまちづくりの議論に活用される予定です。

- 【日 程】** 令和 2 年 11 月 8 日（日）、11 月 22 日（日）、12 月 6 日（日）、20 日（日）
いずれも 13 時 00 分～17 時 00 分（受付：12 時 30 分から）
- 【場 所】** オンライン（Zoom）で開催
- 【対 象】** 無作為抽出された 16 歳以上の札幌市民 20 人（参加者や傍聴者の一般公募は行いませんが、事前に申し込まれた報道機関の方にはライブでの傍聴をご案内します）
- 【主 催】** 気候市民会議さっぽろ 2020 実行委員会（北海道大学、国立環境研究所などの研究者 8 名で構成）
- 【協 力】** 札幌市、北海道環境財団、RCE 北海道道央圏協議会
- 【後 援】** 環境省、北海道地方環境事務所
- 【公開サイト】** 「気候市民会議さっぽろ 2020」の会議の録画や資料は、下記のウェブサイトで随時発信します。
<https://citizensassembly.jp/>

当日取材お申し込み・お問い合わせ先

北海道大学高等教育推進機構高等教育研究部 担当 准教授 三上直之（〒060-0817 札幌市北区北 17 条西 8 丁目）

T E L 011-706-6069 F A X 011-706-6069 メール mikami@high.hokudai.ac.jp

U R L <https://citizensassembly.jp/>

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimuhokudai.ac.jp